

I . 調査の概要

1 調査目的

この調査は、区政の課題について区民の意識や意向を統計的にとらえ、今後の区政運営の基礎資料とするものである。

2 調査テーマ・内容

- (1) 区の施策および評価について
 - ・居住性の評価
 - ・区施策への満足度と必要性
 - ・区の施策への要望
 - ・区政情報の入手

- (2) 区政改革について
 - ・区民サービスのあり方
 - ・求める職員像
 - ・区立施設の老朽化問題
 - ・過去1年間に利用した区立施設

- (3) 練馬区の農地や農業について
 - ・区内農地の保全
 - ・重要だと思う農業振興策

- (4) エネルギー施策について
 - ・地域に必要なエネルギー政策
 - ・優先すべき災害時のエネルギー政策
 - ・水素エネルギー普及に必要なと思う区の実組
 - ・区が取り組むべきエネルギーへの課題

- (5) 「みどり」について
 - ・「みどり」に対する満足度
 - ・「みどり」の量についての実感
 - ・大切にしたい「みどり」
 - ・「みどり」に期待する機能

3 調査設計

- (1) 調査地域 …………… 練馬区内全域
- (2) 調査対象 …………… 練馬区在住の満20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 …………… 3,000サンプル
- (4) 対象者抽出方法 … 層化二段無作為抽出法
 - ①層化…………… 郵便番号に基づき、練馬区内を「5 地区区分（5 ページ）」に示すように4地区に区分し、それぞれを層とした。
 - ②標本数の配分…… 各層における20歳以上の人口数（平成27年8月1日現在）により、「6 地区区分別回収状況（6 ページ）」に示すように3,000の標本数を配分した。
 - ③地点抽出…………… 調査地点の抽出数は、1 調査地点の標本数が10になるように、各層に配分された標本数より算出し、決定した。
調査地点の決定については、層ごとに、

$$\frac{\text{層における人口数}}{\text{層で決定された調査地点数}} = \text{抽出間隔}$$
 を算出し、等間隔抽出法によって、対象者抽出のための各調査地点の起算番号を算出した。
 - ④対象者抽出…………… 練馬区住民基本台帳に基づき、各調査地点の起算番号目に出現する人を第1番目の抽出対象とし、以下各調査地点において一定の抽出間隔で10人に達するまで系統的に抽出し、計3,000サンプルを抽出した。
- (5) 調査方法 …………… 郵送配布・郵送回収
- (6) 調査期間 …………… 平成27年8月28日（金）～9月18日（月）
- (7) 調査機関 …………… 株式会社エスピー研

4 回収状況

	成人人口※	標本数	有効回収数	有効回収率
全 体	596,862	3,000	1,432	47.7%

※平成27年8月1日現在

<参考>

平成26年度回収状況 ※調査設計は平成27年度と同じである。

	成人人口※	標本数	有効回収数	有効回収率
全 体	593,612	2,500	980	39.2%

※平成26年6月1日現在

5 地区区分

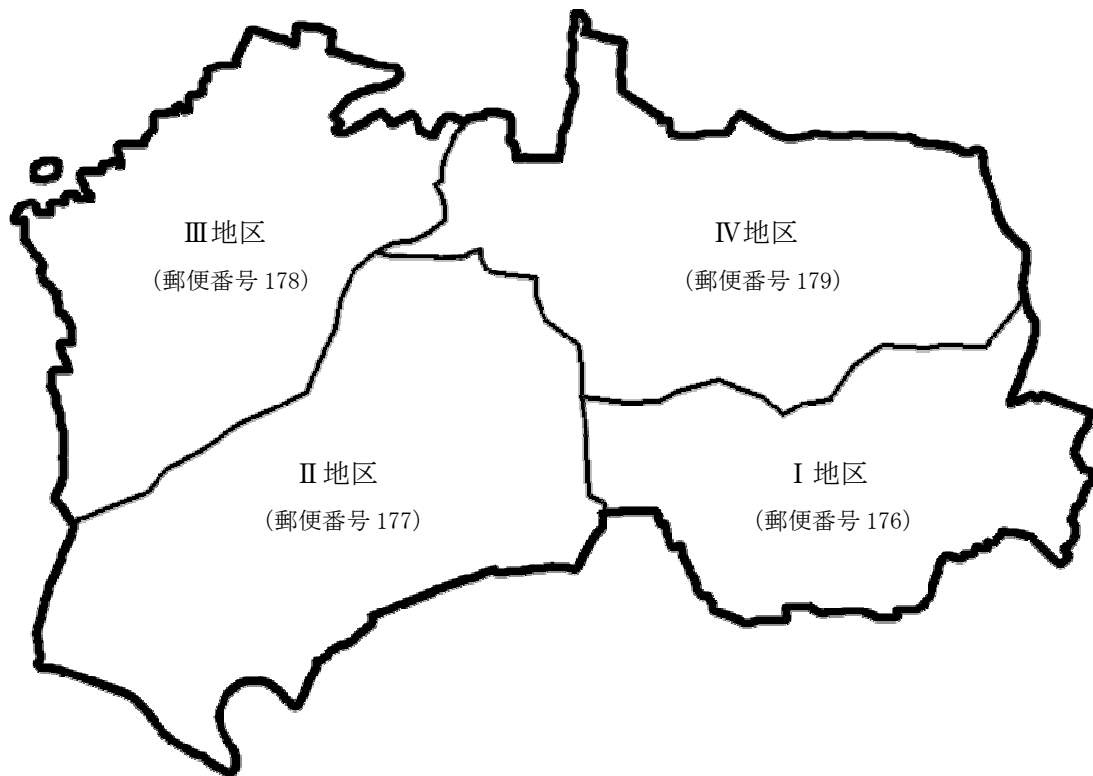


表1 地区区分一覧

区 分	町 名
I地区 〒176	練馬、桜台、羽沢一～二丁目、羽沢三丁目、小竹町、旭丘、栄町、豊玉上、豊玉北、豊玉中、豊玉南、貫井、向山、中村北、中村、中村南
II地区 〒177	三原台一丁目、三原台二丁目、三原台三丁目、谷原一丁目、谷原二～四丁目、谷原五丁目、谷原六丁目、高野台一・二丁目、高野台三～五丁目、富士見台、南田中一～三丁目、南田中四・五丁目、石神井町一～四丁目、石神井町五丁目、石神井町六～八丁目、下石神井、上石神井南町、上石神井、石神井台一・二丁目、石神井台三丁目、石神井台四・五丁目、石神井台六丁目、石神井台七・八丁目、関町北、関町東、関町南、立野町
III地区 〒178	大泉学園町、大泉町一～五丁目、大泉町六丁目、東大泉、南大泉、西大泉一丁目、西大泉二～六丁目、西大泉町
IV地区 〒179	旭町、光が丘、田柄、春日町一～四丁目、春日町五丁目、春日町六丁目、高松一～三丁目、高松四・五丁目、高松六丁目、土支田、北町、錦、平和台、氷川台、早宮

6 地区区分別回収状況

	成人人口	標本数	有効回収数	有効回収率
区全体	596,862	3,000	1,432	47.7%
I地区（〒176）	145,000	731	327	44.7%
II地区（〒177）	171,618	862	374	43.4%
III地区（〒178）	113,383	569	269	47.3%
IV地区（〒179）	166,861	838	403	48.1%
（地区無回答）	0	0	59	-

7 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは、その質問への回答者総数のことである。
- (2) 回答は、回答者総数を100%として算出し、小数点第2位を四捨五入している。
このため、回答率の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の質問では、回答率の合計が100%を超える場合がある。
- (4) フェイスシート（一部質問）として、次の11項目をとりあげた。巻末集計表には、このうち9項目とのクロス集計結果を掲載してある。

①地区別	②性別	③年齢別	④性・年齢別
⑤職業別	⑥ライフステージ別	⑦家族構成別	⑧家族人数別
⑨住居形態別	⑩住居所有形態別	⑪通勤・通学場所別	
- (5) 図表中、スペースの都合上、回答選択肢を短縮している場合がある。
- (6) フェイスシートの項目別や質問項目別に分析する場合、分析の都合に応じて、複数のカテゴリー（回答選択肢）を1つにまとめたり、あるカテゴリーを削除するなどの加工をしている場合がある。1つにまとめた場合に、それぞれの比率の合計と合わせた比率が異なる場合があるが、これは四捨五入による差異である。
- (7) 各設問の説明では、基数（n）が30に満たない項目は除いて比較している。
- (8) 巻末集計表では、属性部分から無回答を除いているため、該当者の合計が総数とならない場合がある。

8 標本誤差について

標本誤差とは、今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあるが、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、誤差を数学的に計算することが可能である。

今回の調査の回答結果から、母集団（練馬区在住の満20歳以上の男女）全体の比率を推定するため、層化二段無作為抽出法の場合の標本誤差の〈算出式〉と〈早見表〉を示した。

標本誤差および〈標本誤差早見表〉は、以下のように使用する。

例えば、問2の「あなたは、練馬区の住みごちをどう思いますか」という質問に対して、「まあ住みよい」と答えた人は1,432人のうち57.6%であった。回答者数が1,432人、回答率が60%前後のときの標本誤差は、〈標本誤差早見表〉では±3.66%であるから、「まあ住みよい」と考えている人は、練馬区在住の満20歳以上の男女全体（母集団）の53.94%から61.26%の間にあると推定できる。ただし信頼度は95%であるので、この推定は95%の確率で正しいといえることになる。

<標本誤差算出式> (信頼度 : 95%)

$$b = 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差 N = 母 集 団 (練馬区全体)
n = 回答者数 P = 回答の比率 (0 ≤ P ≤ 1)

<標本誤差早見表> (信頼度 : 95%)

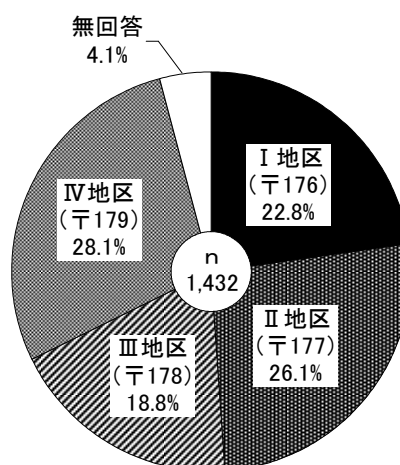
回答比率(P) 回答者数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,432	± 2.24	± 2.99	± 3.43	± 3.66	± 3.74
1,200	± 2.45	± 3.27	± 3.74	± 4.00	± 4.08
900	± 2.83	± 3.77	± 4.32	± 4.62	± 4.71
600	± 3.46	± 4.62	± 5.29	± 5.66	± 5.77
300	± 4.90	± 6.53	± 7.48	± 8.00	± 8.16
100	± 8.49	± 11.31	± 12.96	± 13.86	± 14.14

(注) Nはnより非常に大きいため、 $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ とみなせるので、 $\frac{N-n}{N-1} = 1$ として計算した。

9 回答者の属性

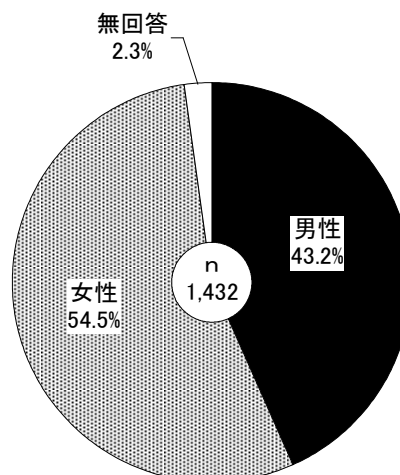
[地区別]

	基 数	構成比
1 I地区 (〒176)	327	22.8%
2 II地区 (〒177)	374	26.1%
3 III地区 (〒178)	269	18.8%
4 IV地区 (〒179)	403	28.1%
無回答	59	4.1%
合 計	1,432	100.0



[性 別]

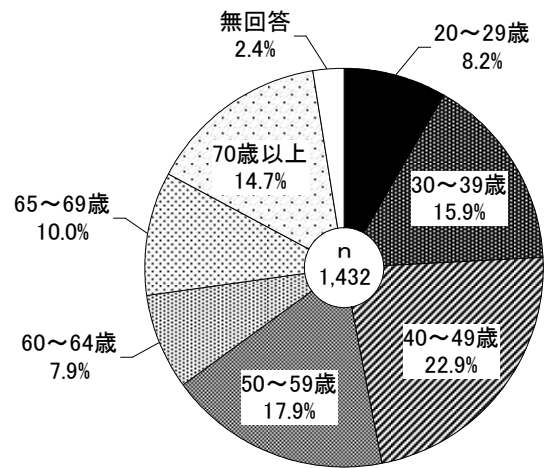
	基 数	構成比
1 男性	619	43.2
2 女性	780	54.5
無回答	33	2.3
合 計	1,432	100.0



	n	(%)		
		男性	女性	無回答
全 体	1,432	43.2	54.5	2.3
I 地区(〒176)	327	44.6	53.8	1.5
II 地区(〒177)	374	41.4	58.0	0.5
III 地区(〒178)	269	42.8	55.8	1.5
IV 地区(〒179)	403	46.9	51.6	1.5
(地区無回答)	59	23.7	49.2	27.1

[年 齢]

	基 数	構 成 比
1 20～29歳	118	8.2%
2 30～39歳	227	15.9%
3 40～49歳	328	22.9%
4 50～59歳	257	17.9%
5 60～64歳	113	7.9%
6 65～69歳	143	10.0%
7 70歳以上	211	14.7%
無回答	35	2.4%
合 計	1,432	100.0



(%)

	n	男 性							女 性							性別無回答)
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	年齢無回答)	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	年齢無回答)	
全 体	1,432	3.1	6.1	10.2	8.2	8.6	6.8	0.1	5.1	9.8	12.7	9.6	9.3	7.5	0.4	2.3
I 地区(〒176)	327	6.7	7.6	12.2	8.3	5.5	4.3	-	4.9	11.3	9.2	9.5	11.0	7.6	0.3	1.5
II 地区(〒177)	374	1.6	6.7	8.0	8.0	10.2	7.0	-	4.5	11.5	13.6	10.2	10.4	7.2	0.5	0.5
III 地区(〒178)	269	1.9	4.1	9.3	9.3	7.4	10.4	0.4	5.6	7.4	16.0	9.7	7.4	9.3	0.4	1.5
IV 地区(〒179)	403	3.0	6.0	11.4	8.4	10.7	7.4	-	6.0	8.7	13.2	9.4	7.7	6.7	-	1.5
(地区無回答)	59	-	3.4	8.5	3.4	6.8	-	1.7	1.7	8.5	8.5	8.5	11.9	6.8	3.4	27.1

<参考>性・年齢別の母集団との比較

		計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	(無回答)
男 性	母集団	49.5	6.8	10.6	11.4	8.2	7.3	5.2	-
	調査結果	43.2	3.1	6.1	10.2	8.2	8.6	6.8	0.1
女 性	母集団	50.5	8.0	10.0	10.9	8.0	6.9	6.8	-
	調査結果	54.5	5.1	9.8	12.7	9.6	9.3	7.5	0.4
(性別無回答)		2.3	-	-	-	-	-	-	2.3

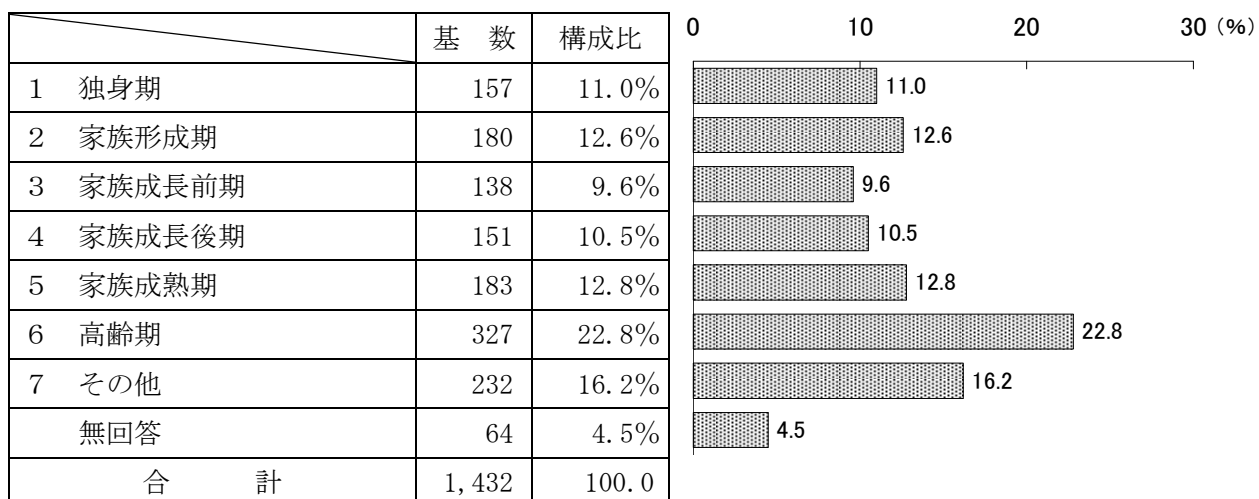
[職業]

	基数	構成比	0	10	20	30	40 (%)	
1 自営業	108	7.5%						7.5
2 家族従業 (家事手伝い)	12	0.8%						0.8
3 自由業	20	1.4%						1.4
4 会社役員	71	5.0%						5.0
5 常勤の勤め人	535	37.4%						37.4
6 パート・臨時の勤め人	187	13.1%						13.1
7 専業主婦 (夫)	216	15.1%						15.1
8 学生	24	1.7%						1.7
9 無職	209	14.6%						14.6
10 その他	13	0.9%						0.9
無回答	37	2.6%						2.6
合計	1,432	100.0						

	n	自営業 (計)			勤め人 (計)			無職 (計)				無回答			
		自営業	家族従業 (家事手伝い)	自由業	会社役員	常勤の勤め人	パート・臨時の勤め人	専業主婦 (夫)	学生	無職	その他				
全 体	1,432	9.8	7.5	0.8	1.4	55.4	5.0	37.4	13.1	32.3	15.1	1.7	14.6	0.9	2.6
I 地区 (〒176)	327	11.0	8.9	0.6	1.5	53.5	5.2	38.5	9.8	33.3	16.8	1.2	13.8	1.5	2.1
II 地区 (〒177)	374	11.0	8.6	0.8	1.6	55.1	4.8	36.4	13.9	32.9	17.6	1.9	13.1	0.3	1.1
III 地区 (〒178)	269	11.2	8.6	2.2	0.4	55.8	6.3	34.9	14.5	31.6	14.9	1.5	14.5	0.7	1.5
IV 地区 (〒179)	403	7.9	5.7	0.2	2.0	59.1	4.2	40.2	14.6	31.5	11.2	2.2	16.9	1.2	1.5
(地区無回答)	59	1.7	1.7	-	-	40.7	3.4	28.8	8.5	30.5	16.9	-	13.6	-	27.1

(注) 自営業 (計) は、自営業、家族従業 (家事手伝い)、自由業を合わせたもの
 勤め人 (計) は、会社役員、常勤の勤め人、パート・臨時の勤め人を合わせたもの
 無 職 (計) は、専業主婦 (夫)、学生、無職、その他を合わせたもの

[ライフステージ]

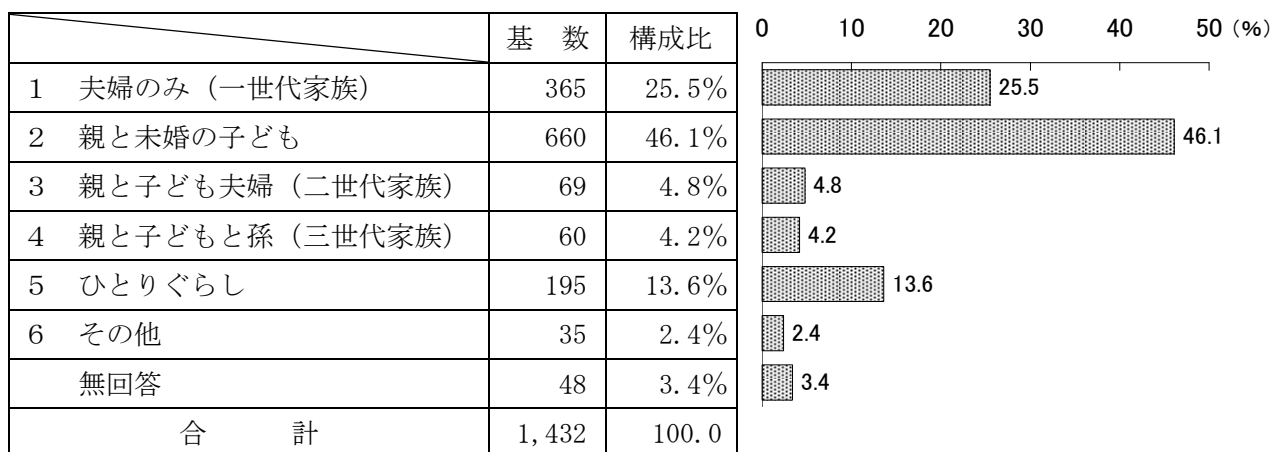


	n	独身期	家族形成期	家族成長前期	家族成長後期	家族成熟期	高齢期	その他	無回答
全 体	1,432	11.0	12.6	9.6	10.5	12.8	22.8	16.2	4.5
I 地区(〒176)	327	15.9	15.3	8.0	10.7	8.9	19.9	17.4	4.0
II 地区(〒177)	374	10.4	10.7	11.8	10.4	12.6	24.1	17.6	2.4
III 地区(〒178)	269	8.9	11.2	9.7	9.3	17.8	24.5	15.2	3.3
IV 地区(〒179)	403	9.9	14.1	8.9	11.7	12.9	24.3	15.6	2.5
(地区無回答)	59	3.4	5.1	10.2	8.5	11.9	13.6	8.5	39.0

(注) ライフステージは、次のような定義に基づいて区分した。

- 1 独身期…………… 40歳未満の独身者
- 2 家族形成期…………… 40歳未満の子どもがいない夫婦
または一番上の子どもが小学校入学前の人
- 3 家族成長前期…………… 一番上の子どもが小・中学生の人
- 4 家族成長後期…………… 一番上の子どもが高校・大学生の人
- 5 家族成熟期…………… 64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人
- 6 高齢期…………… 65歳以上の人
- 7 その他…………… 40～64歳の独身者、40～64歳の子どもがいない夫婦など

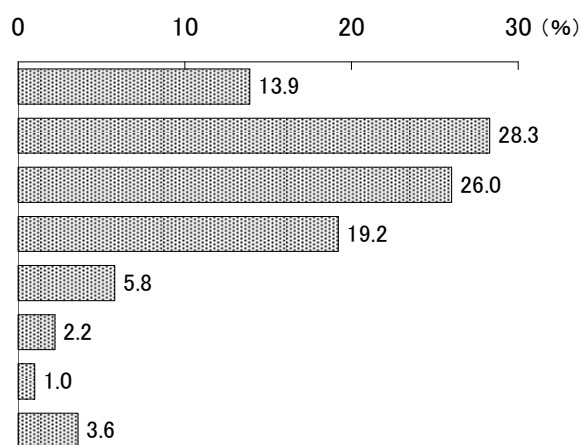
[家族構成]



	n	夫婦のみ (二世世代家族)	親と未婚の子ども	親と子ども夫婦 (二世世代家族)	親と子どもと孫 (三世世代家族)	ひとりぐらし	その他	無回答	(%)
全 体	1,432	25.5	46.1	4.8	4.2	13.6	2.4	3.4	
I 地区(〒176)	327	25.7	40.4	4.6	2.4	20.5	3.1	3.4	
II 地区(〒177)	374	24.6	48.4	4.3	6.4	12.8	1.6	1.9	
III 地区(〒178)	269	27.9	47.2	6.7	5.2	7.8	3.3	1.9	
IV 地区(〒179)	403	26.8	48.1	4.5	3.5	13.4	2.5	1.2	
(地区無回答)	59	10.2	44.1	3.4	-	8.5	-	33.9	

[家族人数]

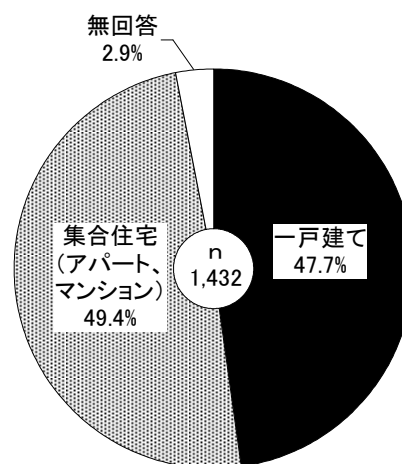
	基 数	構成比
1 1人	199	13.9%
2 2人	405	28.3%
3 3人	372	26.0%
4 4人	275	19.2%
5 5人	83	5.8%
6 6人	32	2.2%
7 7人以上	15	1.0%
無回答	51	3.6%
合 計	1,432	100.0



	n	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	無回答	(%)
全 体	1,432	13.9	28.3	26.0	19.2	5.8	2.2	1.0	3.6	
I地区(〒176)	327	21.1	28.7	26.9	15.9	4.0	1.8	0.6	0.9	
II地区(〒177)	374	13.9	27.3	27.3	20.1	5.6	2.9	1.6	1.3	
III地区(〒178)	269	8.2	32.0	24.9	21.6	7.4	3.0	1.9	1.1	
IV地区(〒179)	403	13.6	28.8	26.1	21.8	6.9	1.7	0.5	0.5	
(地区無回答)	59	1.7	11.9	16.9	3.4	1.7	-	-	64.4	

[住居形態]

	基 数	構成比
1 一戸建て	683	47.7%
2 集合住宅(アパート、マンション)	707	49.4%
無回答	42	2.9%
合 計	1,432	100.0

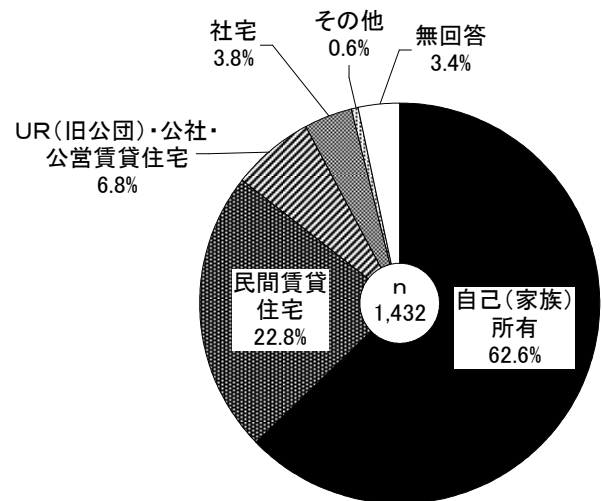


	n	一戸建て	集合住宅	無回答
全 体	1,432	47.7	49.4	2.9
I 地区(〒176)	327	35.5	64.2	0.3
II 地区(〒177)	374	51.9	48.1	-
III 地区(〒178)	269	72.5	25.7	1.9
IV 地区(〒179)	403	41.9	57.8	0.2
(地区無回答)	59	15.3	25.4	59.3

(%)

[住居所有形態]

	基 数	構成比
1 自己(家族)所有	897	62.6%
2 民間賃貸住宅	327	22.8%
3 UR(旧公団)・公社・公営賃貸住宅	97	6.8%
4 社宅	55	3.8%
5 その他	8	0.6%
無回答	48	3.4%
合 計	1,432	100.0

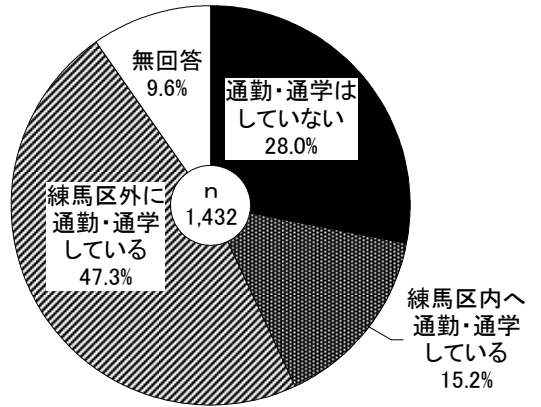


	n	自己(家族)所有	民間賃貸住宅	UR(旧公団)・公社・公営賃貸住宅	社宅	その他	無回答
全 体	1,432	62.6	22.8	6.8	3.8	0.6	3.4
I 地区(〒176)	327	62.7	28.7	2.4	4.9	0.3	0.9
II 地区(〒177)	374	65.2	25.7	4.8	3.2	0.8	0.3
III 地区(〒178)	269	76.2	20.1	0.7	0.4	1.1	1.5
IV 地区(〒179)	403	57.6	19.1	16.1	6.2	0.2	0.7
(地区無回答)	59	18.6	10.2	6.8	1.7	-	62.7

(%)

[通勤・通学場所]

	基 数	構成比
1 通勤・通学はしていない	401	28.0%
2 練馬区内へ通勤・通学している	217	15.2%
3 練馬区外に通勤・通学している	677	47.3%
無回答	137	9.6%
合 計	1,432	100.0



	n	通勤・通学はしていない (%)	練馬区内へ通勤・通学している (%)	練馬区外に通勤・通学している (%)	無回答 (%)
全 体	1,432	28.0	15.2	47.3	9.6
I 地区(〒176)	327	29.4	15.3	48.9	6.4
II 地区(〒177)	374	30.2	15.2	47.9	6.7
III 地区(〒178)	269	28.3	14.5	47.6	9.7
IV 地区(〒179)	403	28.0	17.4	48.6	6.0
(地区無回答)	59	5.1	1.7	23.7	69.5

(%)